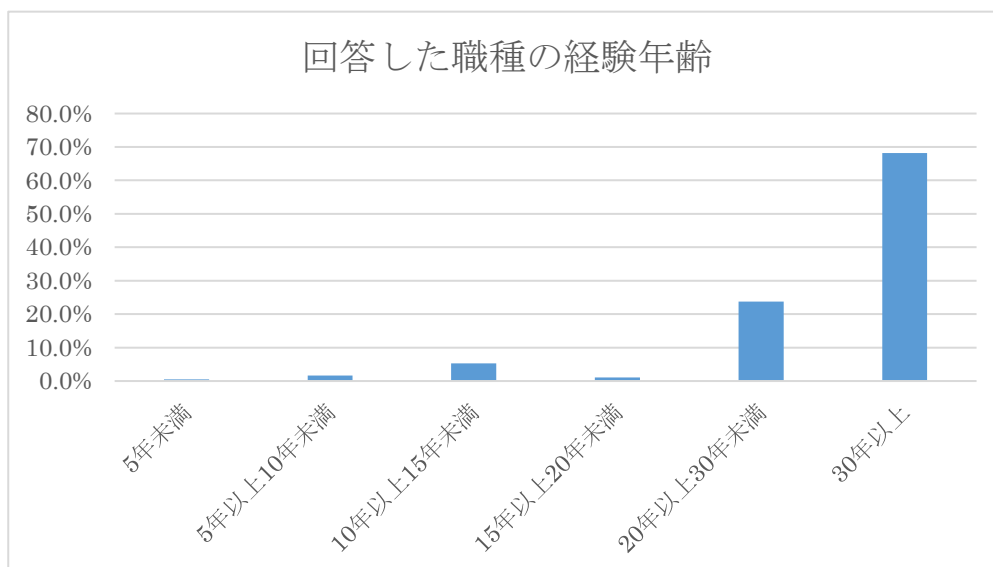
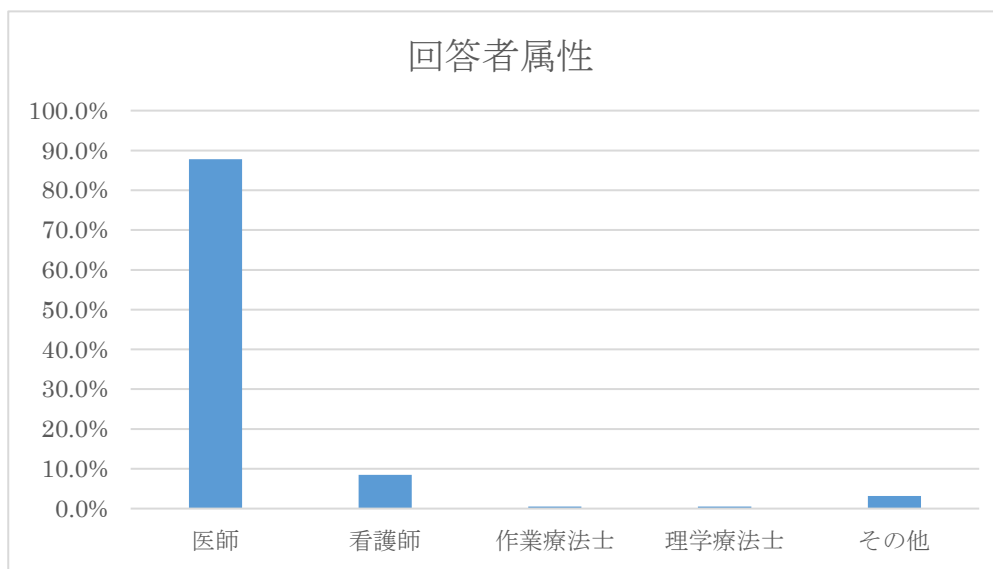


# 「リンパ浮腫診療に関する調査研究」

## 医療機関アンケート

### ①回答者の職種、経験年数

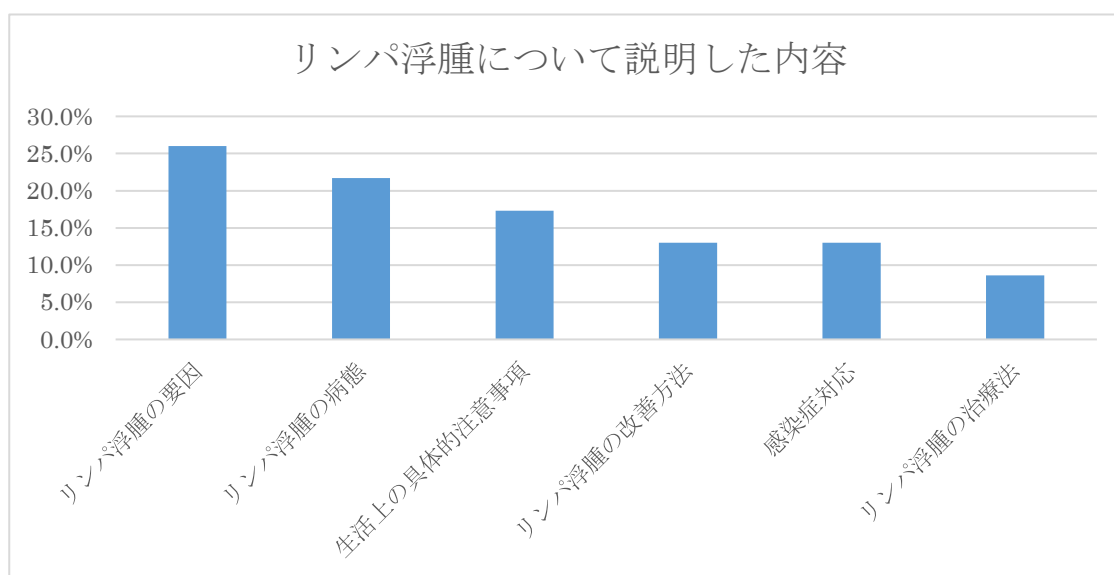
回答者の職種は医師が87.8%、看護師が8.5%、理学療法士と作業療法士が各々0.5%、その他3.2%でした。



## ②リンパ浮腫についての説明

「鼠径部・骨盤部もしくは腋窩部のリンパ節郭清を伴う悪性腫瘍の手術を実施している」と回答した医療機関は3.7%で、そのうち「リンパ浮腫指導管理料の算定をしている」と回答した割合は28.6%でした。

鼠径部・骨盤部もしくは腋窩部のリンパ節郭清を伴う悪性腫瘍の手術を実施している医療機関のうち、「リンパ浮腫発症のリスクについて説明をしている」と回答した85.7%の医療機関において、実際に説明している内容で最も多かったのが「リンパ浮腫の要因」26.0%、次いで「リンパ浮腫の病態」21.7%、「生活上の具体的な注意事項」17.3%と続き、「リンパ浮腫の改善方法」と「感染症を発症した際の対処方法」は同率で13.0%、最少は「リンパ浮腫の治療法」8.6%でした。

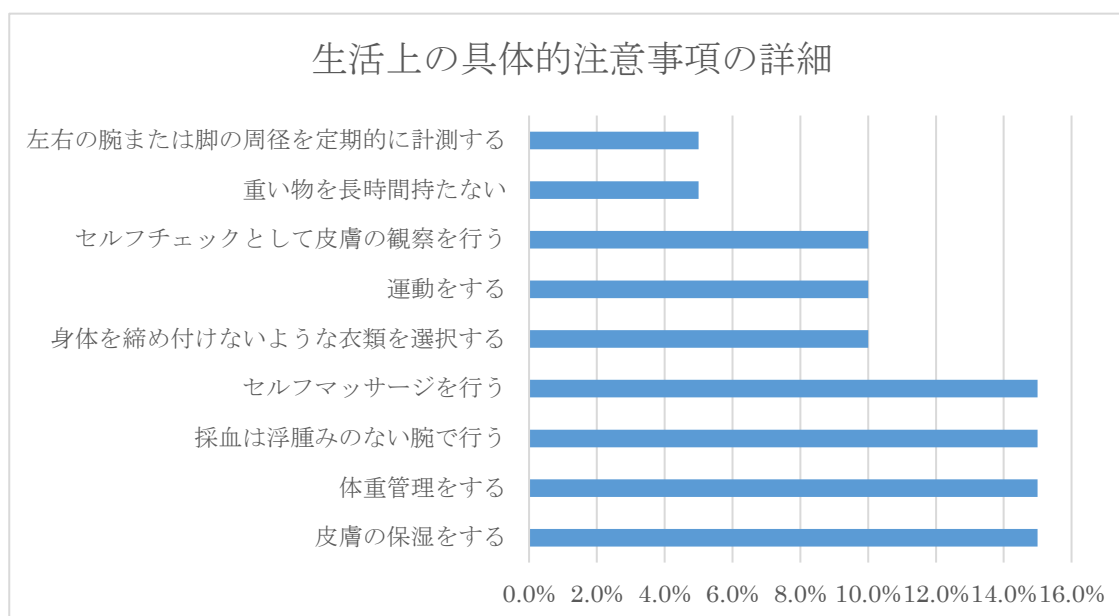
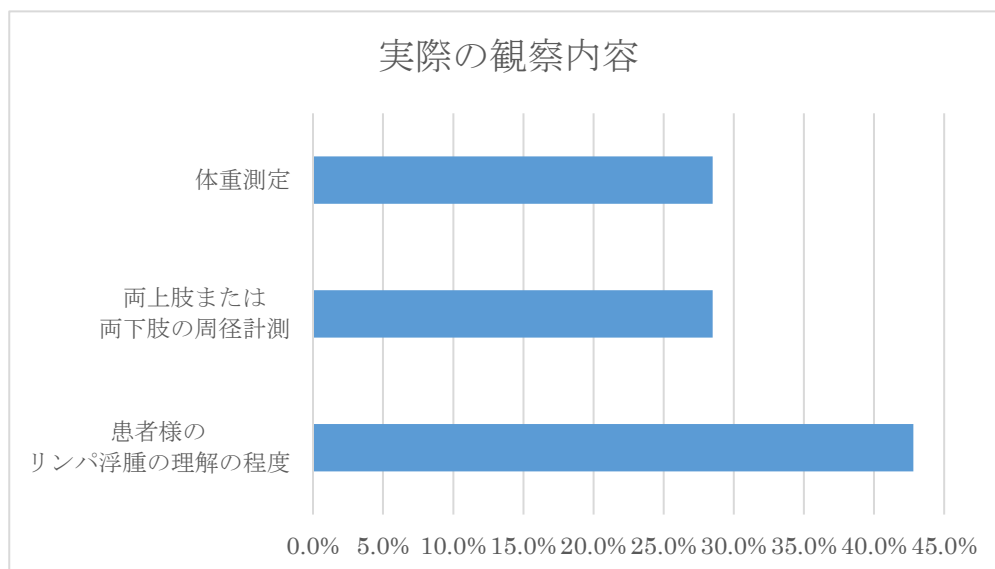


さらに実際に説明した「生活上の具体的な注意事項」の詳細については、「皮膚の保湿をする」、「体重管理をする」、「採血はむくみのない腕で行う」、「セルフマッサージを行う」が15.0%、「重い物を長時間持たない」、「セルフチェックとして左右の腕または脚の周径を定期的に計測する」が5.0%でした。

### ③リンパ浮腫の観察について

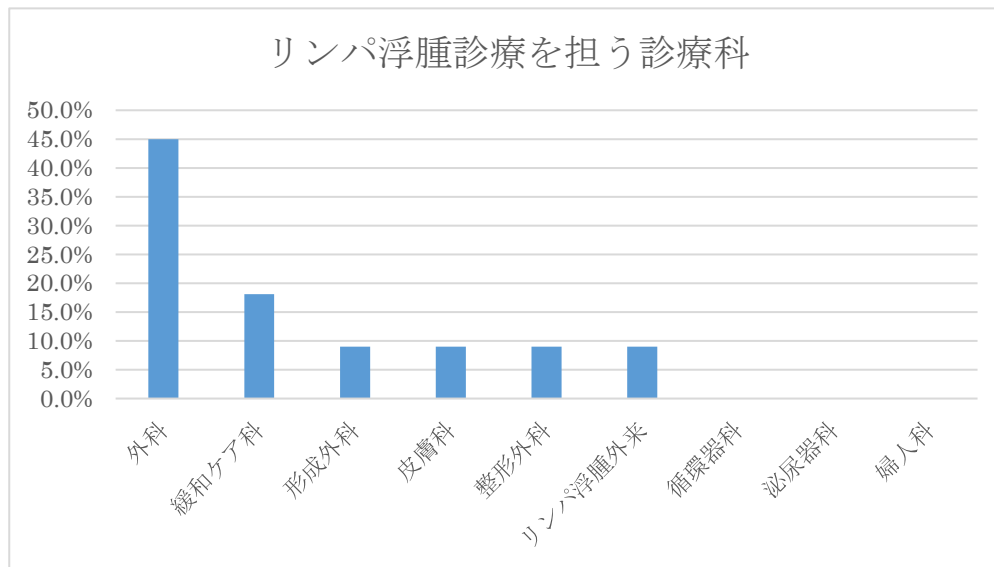
「鼠径部・骨盤部もしくは腋窩部のリンパ節郭清を伴う悪性腫瘍の手術を実施している医療機関」のうち、「リンパ浮腫発症のリスクを予測した観察を行っているか」については「行っている」が71.4%でした。

さらに観察内容の詳細を確認すると「患者様のリンパ浮腫の理解の程度」が42.8%、「体重測定」「両上肢または両下肢の周径測定」と回答した割合は各28.5%でした。

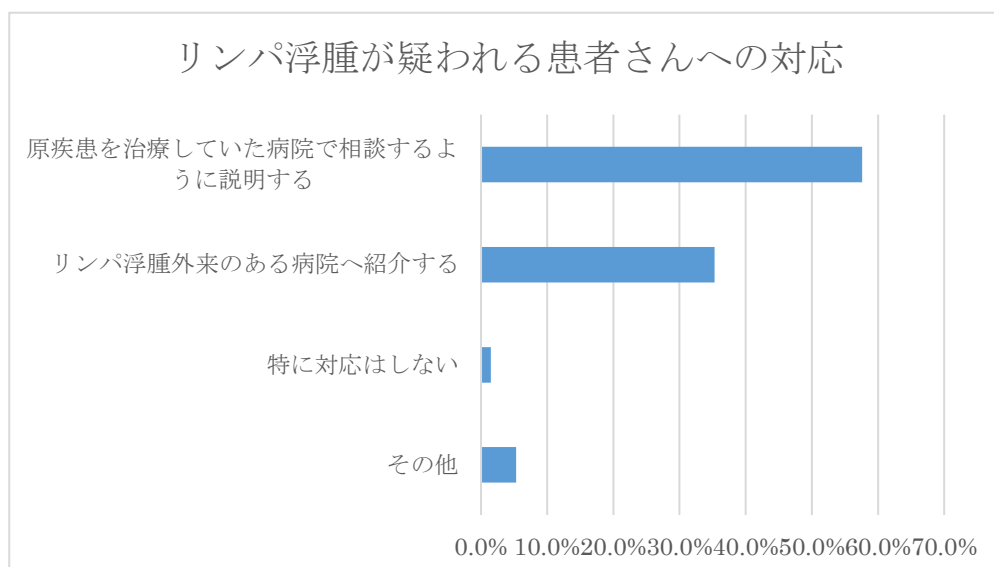


#### ④リンパ浮腫診療を担う診療科と患者さんへの対応

今回のアンケートの範囲内で知り得た「リンパ浮腫診療を提供している医療機関」は4.2%あり、リンパ浮腫診療を担当している診療科は「外科」「緩和ケア科」「形成外科」「皮膚科」「整形外科」「リンパ浮腫外来」となっていました。



リンパ浮腫診療を提供していないが「リンパ浮腫が疑われる病態の患者さんから相談を受けたことがある」と回答した割合は50.8%で、その際には「原疾患を治療していた病院へ紹介する」57.6%で、「リンパ浮腫外来のある病院へ紹介する」35.3%が次に多い結果でした。



#### ⑤自由記載欄に記載された内容

- ・手術をした医療機関でリンパ浮腫発症に備えた説明をしておいてほしい
- ・漢方薬で対応している
- ・あきらめている患者さんもいる
- ・苦痛がない方には治療は行っていない
- ・治療が出来る医療機関がわからない
- ・リンパ浮腫診療についての情報が少ない
- ・リンパ浮腫が疑われる場合は手術をした病院または総合病院などへ紹介している
- ・リンパ浮腫診療を行う施設が増えることを望む
- ・連携やネットワークが必要
- ・現在の手術ではリンパ浮腫の患者さんは少なくなっている